

## ◆最適な荷重ブレーキ調整をするために(NI-C1 シリーズ)◆

荷重ブレーキは義足装着者の体重や、アライメントにより効き具合が異なるため適正な調整が必要です。荷重ブレーキが効き過ぎる調整では、椅子に座る時などにフォームカバールの影響でブレーキが効いたり、坂道や階段の下りでブレーキが引っ掛かる等非常に危険です。本書を参照しながら調整されますと、容易に適正な荷重ブレーキ調整をすることができます。

## 【手順1】

使用工具は付属の六角レンチ(先端がボールポイントの幅 4mm)です。調整時は義足装着者を立たせた状態で膝の後ろから調整します。また、安全のために手すりなど、身体を支えることができる場所で確認してください。

## 【手順2】

下図のように、六角レンチで調整ネジAを右(時計方向)に回してブレーキを効かない状態にします。(新品は、弊社検査規格によりブレーキが効くポイントから90°～135°左(反時計方向)に回した位置となっています。)

## 【手順3】

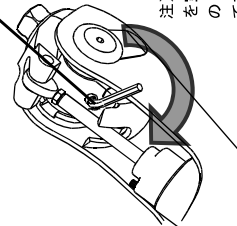
荷重ブレーキの確認方法は右図のように踵に板を置き、体重を義足側に掛けて荷重ブレーキの効き具合を確認してください。荷重ブレーキが効く場合は手順2をやり直してください。

※安全のために、必ず平行棒内で行うか、または手すりなどをご使用ください。

## 【手順5】

手順3と同じように荷重ブレーキの確認をしてください。荷重ブレーキが効けばフォームカバールをつけてブレーキ力に変化がないか確認してください。また、着座など日常動作への影響を確認してください。ブレーキが効かない場合は、手順4をもう一度行ってください。

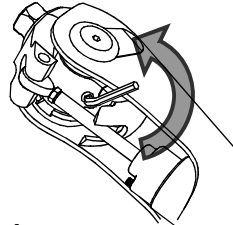
## 調整ネジA



注) 六角レンチを空圧シリンダのロッド部に当てないこと

## 【手順4】

図のように、六角レンチで調整ネジAを左(反時計方向)に約15°回してください。



## ◆最適な荷重ブレーキ調整をするために(NI-C1 シリーズ)◆

荷重ブレーキは義足装着者の体重や、アライメントにより効き具合が異なるため適正な調整が必要です。荷重ブレーキが効き過ぎる調整では、椅子に座る時などにフォームカバールの影響でブレーキが効いたり、坂道や階段の下りでブレーキが引っ掛かる等非常に危険です。本書を参照しながら調整されますと、容易に適正な荷重ブレーキ調整をすることができます。

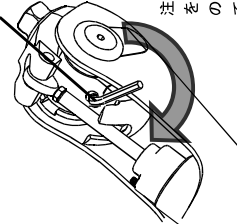
## 【手順1】

使用工具は付属の六角レンチ(先端がボールポイントの幅 4mm)です。調整時は義足装着者を立たせた状態で膝の後ろから調整します。また、安全のために手すりなど、身体を支えることができる場所で確認してください。

## 【手順2】

下図のように、六角レンチで調整ネジAを右(時計方向)に回してブレーキを効かない状態にします。(新品は、弊社検査規格によりブレーキが効くポイントから90°～135°左(反時計方向)に回した位置となっています。)

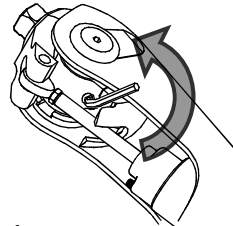
## 調整ネジA



注) 六角レンチを空圧シリンダのロッド部に当てないこと

## 【手順4】

図のように、六角レンチで調整ネジAを左(反時計方向)に約15°回してください。



## 【手順3】

荷重ブレーキの確認方法は右図のように踵に板を置き、体重を義足側に掛けて荷重ブレーキの効き具合を確認してください。荷重ブレーキが効く場合は手順2をやり直してください。

※安全のために、必ず平行棒内で行うか、または手すりなどをご使用ください。

## 【手順5】

手順3と同じように荷重ブレーキの確認をしてください。荷重ブレーキが効けばフォームカバールをつけてブレーキ力に変化がないか確認してください。また、着座など日常動作への影響を確認してください。ブレーキが効かない場合は、手順4をもう一度行ってください。